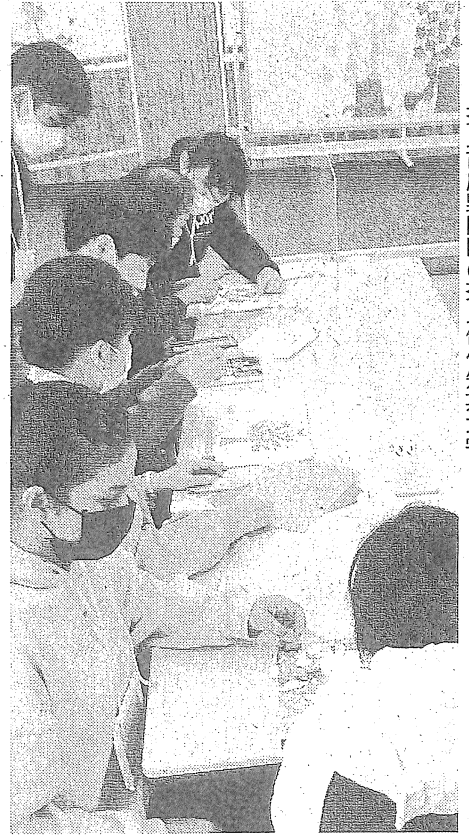


## 奈良佐保短大で福祉交流会

福祉施設利用者のちぎり絵作りをサポートする学生ら＝20日、奈良市鹿野園町の奈良佐保短期大学



# 手製ランチ提供や レクリエーション

奈良市鹿野園町の奈良佐保短期大学は20日、同短大生活未来科の授業などで関わりのある市内三つの福祉施設利用者らを招いて「福祉交流会」を開いた。同科の学生約60人が手製のランチを提供したり、レクリエーションを企画・実施し、約30人をもてなした。

昨年に次いで2回目。招待されたのは▽デイサービス事業所kumiki▽社会福祉法人青葉仁会運営の

グループホーム▽訪問介護事業所おっはーの3施設の利用者とスタッフ。学生はレクリエーション担当の生活福祉コース1、2年生と、ランチ担当の食物栄養コース1年生が参加。福祉施設ごとに3カ所に分かれて行った。

「おっはー」利用者らの会場の学生ホールでは、ツナカレーとピラフ▽コロツケ▽シヨウガのスープ▽ポテトサラダがテーブルに

並び、デザートとお土産用にサツマイモとカボチャのスイーツもそれぞれ提供さ

れた。

食後のレクリエーションは、小型のビニール製ボールをプラスチック製スプーンで運ぶ「スプーンリレー」やちぎり絵作りを行った。食物栄養コース1年生の甲斐遥香さん(18)は「寒い時期なので体が温まるメニューを考え、大学内で

れた野菜を使って調理した。おいしいといってもらい、とてもうれしい」。生活福祉コース2年生の天正朋史さん(22)は「学外実習では高齢者施設が多いので、障害のある方と交流できるのは基調な機会。楽しんでほしい」と喜んだ。